

今年も始まりました！「園芸夏野菜」

5月下旬より、リハビリテーション室の掃出し窓を開けたところに、毎年恒例の夏野菜を植え始めました。今年は、ミニトマト、ナス、ピーマン、ゴーヤ、枝豆、オクラです。ひまわりの種も蒔きました。患者様の中には農業を営んでいた方が多く、アドバイスをいただきながら、毎日水遣りを行い、みんなで大切に育てています。

多くの患者様が、野菜の成長を楽しみにリハビリ室に来られ、「背丈が伸びた」「葉っぱが大きくなった」「花が咲いた」「支えを作らないと」などと、東側の窓辺は交流の場となっています。

今年は気温が高いため野菜の成長が早く、ナスやミニトマトは6月下旬頃から実がなり始めています。大変喜ばれるとともに、リハスタッフも含め園芸にますます熱が入ってきています。この事が記事になるころには、収穫が始まっていることでしょう。今後の夏野菜の成長が楽しみです。

(リハビリテーション科 江幡 佳介)



フラワーアレンジメントで表情いきいき



H28年6月8日病棟の食堂にて行いました。離床できる方の5名を予定していましたが、当日リハビリで離床を兼ねてということで4名増えて9名の参加となりました。小さな器や牛乳パックにオアシスを入れた物を用意しました。数種類の切り花の中より花の大きさ、色、葉っぱをどうするかなど時間をかけて考えながらオアシスに挿していました。その表情が皆とても生き生きとしていて、側で見ていて嬉しくなりました。出来上がったお花は各自床頭台に飾ってもらいました。「お花は見るだけで心が和むよね」「ほっとする」「たまにはお花を触るのも良いね」「男の俺も何か優しくなれたな」など出来上がったお花に満足され、皆さん良い笑顔でした。

いつもと違った患者様の表情や思いを知る機会となり、またいつかこのような時間を持ちたいと思います。

(3階病棟 大野 めぐみ)

ソファベッドの導入

通所リハビリでは限りあるスペースで、一人でも多くのご利用者様に休息できる空間を提供できないものかと思案し、今回ソファベッドを導入しました。早速レイアウトを検討し、くつろぎの空間を作る事となりました。以前より、ご利用者様から「ずっと座っていると疲れてしまう」「ちょっと横になって休みたい」「横にはなりたいが、別部屋で1人は寂しい」等の声が聞かれていました。それらの声に配慮し、フロアの壁際に空間を作り、どなたでもすぐに利用出来るようにしました。設置すると、お昼や入浴後に、休息される方々の姿や、リハビリ後にソファに座り談笑される御利用者様の姿が見られるようになりました。

今後も、更にご利用者の要望に耳を方向け、喜んでいただけるようなサービスが提供できるよう、心掛けていきたいと思ひます。

(老健平成の森 通所リハビリテーション 藤川栄子)



～音と調和（ハーモニー）で笑顔咲く～

平成の森4階あじさい通りのコンセプトは「団結」です。それを「音と調和」に置き換え、今回のテーマに盛り込みました。第7回いのちの讃歌音楽祭は、このテーマに合わせてスタッフが作成した、あじさいの映像による演出で幕を開けました。色とりどりのあじさいが、会場中央に設けられたステージに華やかに飾られ、花は演奏会終了後、利用者に配布されました。そして、ボランティア団体“鷺ノ宮ブラスバンド”のメンバー4名がステージに登場し、いよいよ演奏会のスタートです。フルート、クラリネット2本、サクソフォンから奏でられる、温かくて美しい4つの音色が見事に調和し、会場中を包み込みました。手や身体でリズムを取りながら、音のハーモニーに魅了される利用者の姿が、大変印象的でした。アンコール演奏を終え、ボランティアメンバーによる利用者見送りの際、利用者が、胸に刺したあじさいをメンバーに手渡す場面もあり、周囲にも笑顔が溢れる瞬間でした。和やかなムードの中、音楽祭は幕を閉じました。



満足度調査、ご協力ありがとうございました

満足度調査 ご協力ありがとうございました。

平成の森・川島病院の利用者様、ご家族様に満足度調査にご協力いただきました。ここにご意見の一部を掲載させていただきます。ご協力ありがとうございました。

ここで一番リラックスできた風景は、前に森の公園があることでした。時折りハビリの時連れて行って頂けたのが嬉しかった。病もさることながら心の内も病んでいます。それを癒してくれて本当に助かりました。この周辺がこのままの姿で残ってほしいものです。広々とした田畑の風景と共に富士山も姿を現して目を楽しませてくれました。私も年老いて何時、又、お世話になるか分かりませんが、又、当院を選んで来たいと思います。先生や看護師さんの対応も皆様優しく、多少大勢の中には気持の合わない方もいるのは当然ですが、ゆっくり療養出来たことを心より感謝致します。



ありがとうございます。病院の周囲は田園風景が広がり平成の森公園もあり、四季折々自然の中での療養出来る環境にあることを誇りに思います。

車いすからベッドに移って、タオル等をきちんと掛けてくれないで行ってしまう人もいます



ベッドから車椅子移動後は、ベッドを整えてから離れる。車椅子からベッドへ戻った時には寝具を掛け、声掛けをしてから離れるよう指導していますが再度指導を徹底致します。

食事の際、終わった方からその場所でうがい・歯磨きをするのはいかかでしょうか。一人ひとりの対応は大変かもしれませんが、まだ食事中に目の前でうがい等がやられたら、とてもいやな感じがします。その他リハビリについて、概ね満足ですが、職員個々の力量に差があり、お座なりの対応が有る様な感じを受けました。



回復期病棟の患者様は一部介助の方が多くご自分で洗面所まで行き歯磨きとなると対応が出来ないこともあります。少しずつでも改善して参りたいと思います。リハビリに関しては、リハビリテーション科において様々な勉強会等を実施しており、リハビリテーションの質の向上を目指しております。また、職員個々に対しては、接遇面・技術面を含め個別指導し、患者様、ご家族様に満足いただけるようなリハビリテーションを提供していきたいと思っております。

面会の入口のドアの鍵をかけないでください。



ご不便をおかけしてしまい申し訳ありません。帰宅願望のある患者様、無断離院等の事故防止の必要がある時だけ施錠させて頂いております。ご協力よろしくお願ひ致します。